



かけはし

令和2年(2020年)

長沢中 12月 25日

学校だより 発行責任者

NO. 7 校長 星野 嘉朗

学校教育目標 自己を高め 他を思いやり 自立できる生徒を育てる
深く考え行動する生徒



感染のリスクを越えて…



10月中旬からスタートした後期も今日で前半が終わりました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、合唱コンクールは中止となり、メインとなる学校行事も行われないうまま2カ月が過ぎようとしています。6月後半からスタートした今年度も6カ月が終わり、残すところ3カ月となりました。心のどこかで、コロナウイルスを怖がりながら、日常の学習活動に黙々と取り組む日々でした。

確かに、日常が大きく変わることがない、というのはある意味落ち着いて、色々考えることなく毎日過ごすという意味ではよかったと思います。しかし、皆さんの中に育ってほしい「さまざまな仲間と関わる力」や「いろいろな人の気持ちを理解して、思い合って生活する力」は、繰り返される日々だけで十分に育っていったのでしょうか。多くの仲間と接し、人を知ることによって自分がわかり、「自らを高めようとする」そういう気持ちは育ってきたのでしょうか。行事の大切さは、まさにいろいろな仲間とのかかわりによって、一人ひとりの中に育つ力なのです。その力を日常の学校生活に生かしてこそ、一人ひとりの学校生活が充実し、一人ひとりが「自立」していくのだと考えています。だからこそ、行事の取り組みは結果ではなく、どう取り組んだのが大切といわれるのです。感染が拡大している中で、合唱の取り組み？と思ってしまうのは当然です。合唱の取り組みに代わって皆さんの力を育むものがあれば、それはそれでよいと思います。ただ、長沢中学校が伝統

として受け継いできた、合唱活動を「今年は辞めよう」と決断することは簡単です。しかし、合唱を通して受け継がれてきた文化を少しでも継承しよう。受け継いでいきたいと考えるならば、「どうすれば、リスクを抑えながら取り組めるのか」ということを、先生方だけに任せるのではなく、生徒一人ひとりも考えていくことが、大きな学びにつながるのだと考えます。

リスクを回避するには、何もしないことです。それでは成長はありません。リスクを少なくするには、どうすればよいのか「正解」はありません。どうやったら「安全」なのかを考えていきながら取り組むことは、結果として合唱の取り組みの発表ができなくても、取り組んだことで育った力は一人ひとりの力となります。それこそが、「深く考えて行動する生徒」を目指している長沢中学校の力となると思います。

コロナウイルス感染症の拡大を「怖がること」は大切です。大切なことは「正しく怖がり」、できることは取り組む、ということです。そのために、この冬休みを一人ひとりがどう過ごせばよいのか「言われたことをやる」のではなく、「自分で考えて行動」してください。

自ら考える力を育む授業において



本校では横須賀市教育委員会の委託研究としてフロンティア研究を4年間継続して取り組むことになっているのはご承知の通りです。テーマは「主体的・対話的で深い学びを視点として授

業づくり」です。これはまさに、来年度から施行される学習指導要領が求めている、今の生徒が社会に出ていったときに求められる「答えの見えないことにも自ら考え取り組んでいく力」を授業を通して育もうという研究です。生徒一人ひとりの基礎基本の学力の向上を土台としながら、どのような授業をつくっていくことが「自ら進んで考える力」を身につけさせられるか、我々教職員も試行錯誤しながら取り組んでいます。12月1日には、本校の指導をしていただいている西留安雄先生をお迎えして、今年度2回目の研修を行いました。1年1組と2組でそれぞれ社会科・英語科の研究授業を行いました。「子どもたち一人ひとりに自ら学ぶ力を育てるためには？」をテーマに今後も研修を積み上げ、一人ひとりの学力の向上を目指します。



生徒会活動もなかなか先を見通していくことが難しい状況ですが、今まで積み上げてきた取り組みを土台と

して、柔軟な発想で一人ひとりの学校生活が少しでも豊かなものになるように、考え実践してほしいと思います。

会長 石井稜久くん 副会長 石井桜愛さん
 2年事務局 手倉森春乃さん 榎本幸紀くん
 菱沼絢利亜さん 村上漣音くん
 1年事務局 大川優奈さん 石田陽向くん
 古谷心音さん 橋本和士くん
 吉田紗英さん

税の作文入賞者表彰

3年生6名が入賞し12月14日に表彰されました



今年度の税の作文コンクールに3年生の6名が入賞し、横須賀税務署の鷹野署長と納税貯蓄



組合連合会の瀧澤会長が来校し、表彰していただきました。

- 1組 山本祐太郎くん、野尻涼真くん
熊倉夢唯さん
- 2組 磯貝太一くん
- 3組 吉田いろはさん
- 4組 野尻 隼くんの6名です。

進路に向けて忙しい中でしたが、それぞれの努力がしっかりと評価され、表彰後の一人ひとりのすがすがしい笑顔が印象的でした。



新生徒会執行部が発足！

12月10日に生徒会会長・副会長の立会演説・投票、11日は2年・1年の事務局員の立会演説・投票が行われ、新しい生徒会執行部のメンバーが決まりました。今年度はこのような状況なので、会長・副会長はテレビ放送で、各学年の事務局員は体育館での立会演説でしたが、時間を短縮するために候補者と責任者の演説のみで質疑などの討論は行いませんでした。しかし、放送も演説会も候補者の話を真剣に聞き入る姿が見られ、投票も整然と行われていました。

